

4.1 栄養・食生活の改善《野菜バリバリ朝食モリモリ》

重点課題

- 野菜摂取量の増加と朝食を欠食する人の減少（《野菜バリバリ朝食モリモリ》の推進）
- メタボリックシンドローム予防啓発の充実

行動方針

- ◆ 大阪府食育推進計画との連携推進
- ◆ 特定給食施設等における喫食者教育の推進
- ◆ 「うちのお店も健康づくり応援団」協力店の拡充
- ◆ ホームページによる提供情報の充実
- ◆ 産学官民連携による啓発
- ◆ 食に関するボランティア等による啓発

行動目標

	前計画策定時	中間評価	現状値	目標値 (H24)
「うちのお店も健康づくり応援団」協力店の増加	3,500店舗	6,533店舗	7,773店舗 ^{※1}	10,000 店舗以上
食育推進に携わるボランティアの増加	—	—	3,400人 ^{※2}	4,100人
メタボリックシンドロームを認知している府民の割合の増加	—	—	52% ^{※3}	80%

※1 現状値（18年度末）大阪ヘルシー外食推進協議会調べ

※2 現状値（平成17年）「大阪府食育推進計画」より

※3 現状値（平成17・18年）「大阪府食育に関するアンケート」より

府では、子どもの頃から健康的な生活習慣を身につけ、がんや心疾患などの生活習慣病を予防し、大阪府の健康指標を改善するため、「野菜バリバリ朝食モリモリ」を合言葉とした食育推進プロジェクトに取り組んでいます。

◆ 大阪府食育推進計画との連携推進

府は、平成18年度に府民一人ひとりが自らの意志で食育に取り組むとともに、府民が実践する食育を地域、教育機関、生産者、食品関連事業者など各団体等が支援し、食育を府民運動として推進することを基本方針とした「大阪府食育推進計画」を策定しました。本計画は、この大阪府食育推進計画と連携しつつ、府民運動として府民の栄養・食生活の改善を図ります。例えば、大阪府が定めている毎年8月の「食育推進強化月間」、毎月19日の「野菜バリバリ朝食モリモリ」推進の日にイベントを集中実施するなど重点的な啓発活動を行い、野菜摂取量の増加、朝食を欠食する人の減少に努めます。

◆ 特定給食施設等における喫食者教育の推進

府保健所は、健康増進法に基づく施設指導として事業所や保育所等の特定給食施設に対して給食内容の改善指導を行っていますが、さらに給食施設が積極的に健康づくり情報を充実・提供することにより、喫食者が容易に健康づくりに取り組めるよう、必要な助言、指導を行っていきます。

◆ 「うちのお店も健康づくり応援団」協力店の拡充

大阪府民は外食機会が多いのが特徴とされています。そこで飲食店関係団体と行政、企業等で構成する「大阪ヘルシー外食推進協議会」は、飲食店におけるメニューの栄養成分表示やヘルシーメニューの提供、ヘルシーオーダーやたばこ対策など多様な健康づくりを進める「うちのお店も健康づくり応援団」協力店を推進しています。府は大阪ヘルシー外食推進協議会と連携をとりながら、府民の健康づくりに資するための食環境の充実を図ります。

◆ ホームページによる提供情報の充実

府は、平成 16 年 4 月に食育に役立つ情報発信を行うサイトである「おおさか食育通信」を開設し、多様な食育、健康情報を発信しています。また、大阪ヘルシー外食推進協議会や大阪府立健康科学センターのホームページでも、主な生活習慣の自己点検ができるコンテンツの掲載や、食生活をはじめ様々な健康栄養情報の提供など、個人の健康づくりの取組を支援する環境整備を図っています。

特にメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防については、個々人の意識や知識、きっかけづくりが重要であり、今後も最新の健康づくり技法の提供など、内容の充実を図っていきます。

◆ 産学官民連携による啓発

大阪版 PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）とは、行政と民間が多様な形で連携・協働して、効率的でより質の高い公共サービスを提供しようとするものです。栄養・食生活の分野では、食品関連事業者が自主的に設立した「健康おおさか 21・食育推進企業団」とともに食育推進イベントである「おおさか食育フェスタ」の開催、高校生や大学生の食育活動を支援する食育ヤングリーダー支援助成事業の実施、さらには「健康おおさか 21」のロゴマークを使用して企業の配布媒体を活用した啓発を行うなど、連携・協働による様々な事業展開を図っています。また、コンビニエンスストアと管理栄養士養成校、大阪府立健康科学センターの連携・協働による「野菜たっぷり健康バランス弁当・総菜・サラダ」の開発や、地域貢献企業バンクに登録している出版社との連携・協働に

よる食育冊子の発行・配付、さらには居酒屋チェーンと管理栄養士養成校等とのコラボレーションによるメタボリックシンドローム予防事業など、幅の広い啓発活動を行っており、府では今後も様々な手法を用いて健康情報を府民に届けていきます。

◆ 食に関するボランティア等による啓発

大阪府食生活改善連絡協議会や地域活動栄養士会など地域で活躍するボランティア団体は、PTA 協議会や自治会、子ども会等と連携し、地域ぐるみの食育推進に取り組むなど、府民の栄養・食生活の改善に重要な役割を果たしています。これらボランティア活動を支援するため、府保健所は市町村や各団体等との連携やコーディネート機能を強化します。